

八幡神社(東国吉)



由緒・伝説

当地は元 高田森二氏の領地だったが維新後井上河内守正直氏の所領となり、のち明治二年領地6万石の内大社を選択し、郷社に昇格する。同六年、鶴舞藩から鶴舞県となったが、社地はそのままの状態にとどまる。社地は山岳に位置し鳥居より社殿まで延長136間あり、荘厳である。階段は144段あり急峻である。

例祭・神事

元旦
オビシャ 1月 3日
春祭り 4月 3日
宮薙ぎ 4月、7月、10月
注連縄飾り 4月、10月、12月
秋祭り 10月13日
七五三 12月第1日曜日

(1/5)

所在地	市原市東国吉303番地(字宮ノ越)		
祭神	誉田別命(ホンダワケノミコト)		
宮司	小田千里	氏子数	75戸

1.社殿



八幡神社
拝殿
本殿（写真の右奥）

建物
本殿 亜鉛板葺き流れ造り
間口2.5間×奥行き1.6間
幣殿 瓦葺き妻入り
間口 2間×奥行き 4間
拝殿 瓦葺き入母屋造り
間口 4間×奥行き 2間



拝殿
赤じゅうたんの奥に幣殿あり。
額の八幡神社は金山陸軍中将謹書。

2. 摂社・末社

見当たらない。

3. 鳥居・狛犬

鳥居



額 八幡神社
建立 昭和二十八年十月
材質 コンクリート製

旧鳥居改修
大正十四年十月三日

狛犬 なし

4. 絵馬



絵馬19枚が奉納されている。

5・記念額
記念碑

記念額



八幡神社屋根修繕寄附連名の木札
明治四十年七月



大正天皇御真影
奉納大正三年一月十五日
宇田川武雄



奉納 参道階段石百本
当区 武田三四郎

記念碑



日清・日露戦勝記念碑
明治二十七八年日清戦勝
明治三十七八年日露戦勝
氏子中

拝殿右側



防火水槽
奉納 主婦会

拝殿右側

6. 石灯籠、
手水石

石灯籠なし

手水石



家紋 (正面)
奉納主 鴛田 ちよ(右側面)
七十四才
明治廿六年 (左側面)
(明治26年)
拝殿手前左

7. 神木	神木なし  境内の周囲には市指定の保護樹木あり。 保全地区等指定標識 樹種 スギ 市指定 昭和56年11月1日
8. 例祭 神事・神輿	お宮の行事 元旦 オビシャ 1月 3日 春祭り 4月 3日 秋祭り 10月13日 七五三 12月第1日曜日 宮司によるお祓いを行う。 ・氏子総代3名(任期3年、筆頭総代は1年交代) ・神社清掃、毎月1日、15日 当番2名 ・宮薙ぎ 神社の参道(階段)とその周辺の清掃を行う。 年3回 4月2日、7月14日、10月12日 お祭りの前日。 ・夏祭り(ムギリ)は、麦の収穫祭だったが今は行われない。(7月15日) ・注連縄(シメナワ)飾り 4月、10月、12月の3回。 シメナワは氏子総代3名で作り奉納する。 ・正月飾り(門松) 12月30日 当番2名。 ・子安講 安産と出産のお礼と健やかな成長を願う女性の講。 1月、9月の年2回。宿制(当番制)2名
9.その他	 幣殿 正面奥に本殿がある。 奉祝、天皇陛下在位六十年の提灯  内本殿 右奥に絵馬が見える。(4/5)



昭和十二年戦勝祈願ノ砌として、
写真の人の氏名に屋号をつけて
奉納した。
昭和六十四年一月

棟札



①

②

③

・普請にあたり氏子の安全を祈願した棟札

①棟札 鳥居新築
大正十四年十月十三日

②棟札 遷宮式 拝殿改築・幣殿新築・
本殿大修理
昭和九年十月十三日竣工

③棟札 鳥居修繕
昭和十一年十二月五日

①②③は水波能賣神(水の神)を祀っている。
小田吾勝守により3枚とも祈願している。



力石 3ヶ 鳥居脇



石段は
1
4
4
段

・妙見神社は 現在の市東中学校である台地にあったと云う。

・高田いなりの昔話あり。「いちはら昔話」による。

・土まんじゅう(20基位) 神社西側の林にある。